

リワーク（日本うつ病リワーク協会）
〔指定演題〕

プログラム

会長講演

特別講演 1～2

教育講演 1～2

大会企画シンポジウム 1～5

委員会企画シンポジウム

- ・ 地域連携委員会
- ・ 施設認定委員会
- ・ 研修委員会

リワーク 会長講演

現 地

ライブ

2022年7月16日(土) 13:20～14:10

第1会場「1F 大ホール」

R-PL リワークで学び、鍛え、飛躍するために

座 長

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

演 者

寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

リワーク 特別講演1

現 地

ライブ

2022年7月16日(土) 9:00～10:00

第1会場「1F 大ホール」

R-SL1 COVID-19拡大とうつ病・双極性障害：生物心理社会的観点から

座 長

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

演 者

尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野

リワーク 特別講演2

現 地

ライブ

2022年7月17日(日) 11:20～12:20

第1会場「1F 大ホール」

R-SL2 職域における双極性障害の診断と治療

座 長

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

演 者

岩田 仲生

藤田医科大学医学部精神神経科学講座

リワーク 教育講演1

現 地

ライブ

2022年7月16日(土) 14:20～15:20

第2会場「3F 大会議室」

R-EL1 神経発達症のバイオマーカー—診断や治療への応用—

座 長

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

演 者

岡崎 康輔

奈良県立医科大学 精神医学講座

リワーク 教育講演2

現 地

ライブ

2022年7月16日(土) 16:10～17:10

第1会場「1F 大ホール」

R-EL2 境界領域の発達障害とは何か ～うつ病と発達障害との近くて遠い関係～

座 長

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

演 者

加藤 進昌

公益財団法人神経研究所

リワーク 大会企画シンポジウム1

現 地

ライブ

時代の変化とうつ病治療

2022年7月16日(土) 10:00～11:40

第2会場「3F 大会議室」

オーガナイザー

徳永 雄一郎

不知火病院

大橋 昌資

医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

【趣旨・狙い】

社会情勢の変化、経済状況の変化、雇用情勢の変遷、情報化社会の急進（コンピューターの多用による脳疲労、対面からインターネットへのコミュニケーションの変化）、コロナ渦など時代の変化を受け、うつ病そのものも多様化、非定型化し、疾患の性質も変化している。当然、その治療についても変革が求められ続けており、新たな一つの治療法として開始されたのが、リワークプログラムであった。継続するにあたり、都市と地方、大規模と小規模、病院と診療所など、環境により抱える問題も違うかもしれない。

今回は、九州各地の病院、診療所でリワークを運営し続けている多職種の4名のシンポジストから、時代により変わりゆくうつ病について、またそうした変化に対応したリワークの内容、運営の困難さや工夫などについてお話し頂く予定である。変わりゆく時代のリワーク運営の中での、シンポジウム参加者の日々の問題解決の一助となる事を願い、企画した。

座 長

飯田 仁志

福岡大学医学部精神医学教室

大橋 昌資

医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

R-S1-1

当院におけるリワークプログラム10年間の改変の取り組み

前田 エミ

医療法人要会かなめクリニック

R-S1-2

当院デイケアにおけるリワークプログラム

ー利用者一人一人に応じた取り組みー

岩下 真由美

医療法人建悠会吉田病院

R-S1-3

リワークにおけるマインドフルネスの活用と注意点

～地方都市におけるリワーク運営継続の工夫とともに～

大磯 宏昭

桜が丘病院

R-S1-4

ストレスケア病棟におけるリハビリテーション

山本 久美子

不知火病院

リワーク 大会企画シンポジウム2

現 地

ライブ

リワークプログラム利用者の広がりとプログラムの多様化

2022年7月16日(土) 14:20～16:00

第1会場「1F 大ホール」

オーガナイザー

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

【趣旨・狙い】

うつ病だけでなく、双極性障害や発達障害など、リワークプログラムの利用者が多様化していること、また、コロナ感染拡大を契機とした在宅業務が増えたことを契機として働き方改革などの社会環境の変化もリワークプログラムのあり方に少なからぬ影響を今後是与えていくと予測される。このような点を再認識し、今後のリワークに資する内容のシンポジウムを実施したい。

岡本先生並びに横山先生からは主に利用者の変化に関してリワークプログラムの現場からお話をいただき、堀先生ならびに伊藤先生からは働き方の変化などの社会環境の変化がリワークプログラムに与える影響に関してお話をいただきたいと考えている。

座 長

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

R-S2-1

虎ノ門でのリワークプログラムでの経験から

岡本 龍也

メディカルケア大手町

R-S2-2

札幌におけるリワークプログラムでの経験から

横山 太範

さっぽろ駅前クリニック

R-S2-3

大学病院におけるリワークプログラムの役割～自身の勤務経験を通じて～

堀 輝

福岡大学医学部精神医学教室

R-S2-4

厚生労働政策・管理論からみたリワークプログラムの役割

伊藤 弘人

東北医科薬科大学 医学部 医療管理学教室

リワーク 大会企画シンポジウム3

現 地

ライブ

安心・安全なリワーク活動を推進していくために

2022年7月17日(日) 9:30～11:10

第1会場「1F 大ホール」

オーガナイザー

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

【趣旨・狙い】

2021年年末に大阪の西梅田ところとからだのクリニックにおいて起こった事件は25名もの犠牲者を出したことは記憶に新しい。事件は、ショートケアでのリワークプログラムの開始時間を狙って行われ、犯人が拡大自殺を図ったとの見方もある。

本シンポジウムを実施するにあたり、日本リワーク協会に加え日本デイケア学会の協力も得てデイケア等を持つ医療機関に対しての調査を実施する。集団プログラムとしての安全を確保する視点や精神科医療機関として安全を確保する視点から発表をしてもらおうと同時に、地域での活動としての視点からの発表を受けて安心・安全な活動を推進していくことを討論する。

座 長

五十嵐 良雄

医療法人社団雄仁会

R-S3-1

デイケアを対象としたアンケート調査から

大木 洋子

東京リワーク研究所

R-S3-2

集団プログラムとしての安全を確保する視点から

佐々木 一

心の風クリニック

R-S3-3

精神科医療機関として安全を確保する視点から

松原 六郎

公益財団法人松原病院

R-S3-4

地域活動での危機管理 *多機能型精神科診療所の実践から*

原 敬造

原クリニック

リワーク 大会企画シンポジウム4

現 地

ライブ

EXMIND（マインドフルネスと実存的アプローチの併用）などの心理療法はリワークに役立つ

2022年7月17日(日) 14:15～15:55

第2会場「3F 大会議室」

オーガナイザー

寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

【趣旨・狙い】

Existential and Mindfulness-Based Intervention (EXMIND) とは、大分大学の坂井亜果里先生や河野伸子先生、赤瀬真理先生によって考案された心理療法であり、マインドフルネスに実存的アプローチを追加する治療法のことである。3人の先生方は、EXMINDがマインドフルネス単独に劣らない効果をもたらすことを randomized controlled trial で示し（1）、それぞれの治療法の予測因子を抽出した（2,3）。これらの研究で中心的な役割を果たした坂井亜果里先生と河野伸子先生は、今でも大分大学のリワークにおいてマインドフルネスや認知行動療法、さらには実存的アプローチを実践している。このような背景から、両先生にはそれぞれ「EXMIND studyの概要とリワークにおける実存的アプローチの適用例」と「EXMINDの反応予測因子とリワークにおけるマインドフルネスの実践」をご講演いただく。さらに、大分大学の平川博文先生に「リワークの中で、思考の硬直性が心理療法で改善した症例」（4）を通して、リワークにおける心理療法の有用性についてご講演いただく。

1. Sakai A, Terao T, Kawano N, Akase M, Hirakawa H, et al. Existential and Mindfulness-Based Intervention to Increase Self-Compassion in Apparently Healthy Subjects (the EXMIND Study) : A Randomized Controlled Trial. Front Psychiatry. 2019;10 : 538.
2. Akase M, Terao T, Kawano N, Sakai A, Hirakawa H et al. More Purpose in Life and Less Novelty Seeking Predict Improvements in Self-Compassion During a Mindfulness-Based Intervention : The EXMIND Study. Front Psychiatry. 2020;11 : 252.
3. Kawano N, Terao T, Sakai A, Akase M, Hirakawa H et al. Maternal overprotection predicts consistent improvement of self-compassion during mindfulness-based intervention and existential approach : a secondary analysis of the EXMIND study. BMC Psychol. 2021;9 (1) : 20.
4. Hirakawa H, Terao T, Sakai A, et al. Thought Process Evolved From Rigid to Flexible in a Patient With Bipolar Disorder Via "Return to Work Program" : A Case Report. J Nerv Ment Dis. 2021;209 (8) : 609-611.

座 長

寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

R-S4-1

EXMIND studyの概要とリワークにおける実存的アプローチの適用例

坂井 亜果里 医療法人哲世会 鶴見台病院

R-S4-2

EXMINDの反応予測因子とリワークにおけるマインドフルネスの実践

河野 伸子 大分大学福祉健康科学部

R-S4-3

リワークの中で、思考の硬直性が心理療法で改善した症例

平川 博文 大分大学医学部精神神経医学講座

リワーク 大会企画シンポジウム5

現 地

ライブ

新型コロナウイルス感染症による社会の変化と職場復帰支援の在り方再考

2022年7月17日(日) 14:15～15:45

第4会場「3F 302+303」

オーガナイザー

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

【趣旨・狙い】

2022年7月時点を推測するに、新型コロナウイルス感染症の蔓延に対して、この感染症の知見がより解明・蓄積され、ワクチン予防接種が進み、また経口治療薬をはじめとした治療方法が開発・普及されるなど順調に進めば、新型コロナウイルス感染症は一定の収束を迎えてインフルエンザ感染症並みの感染対策に留まる状況も期待される。

しかし、一方で新型コロナウイルス感染対策を機として生じた大きな社会の変化、働き方の変化のなかには、新型コロナ前の状況へは回帰せず、むしろ定着・促進されるものも多いと考えられる。そのような予想される社会の変化のなかで、職場復帰支援の在り方について議論、再考したく考えている。

座 長

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

R-S5-1

リワークの立場から

秋山 剛

NTT 東日本関東病院

R-S5-2

新型コロナウイルス時代におけるメンタルヘルス不調の職場復帰について ～産業医の立場から～

高野 知樹

神田東クリニック

R-S5-3

産業精神保健の専門家の立場から

江口 尚

産業医科大学産業生態科学研究所産業精神保健学研究室

R-S5-4

新型コロナによる社会の変化と職場復帰支援の在り方再考

津久井 英明

株式会社NTTデータアイ 人事総務部

リワーク 委員会企画シンポジウム1 [地域連携委員会]

現 地

ライブ

地域連携委員会活動報告 これからのリワーク連携に求められるもの

2022年7月16日(土) 10:00～12:00

第4会場「3F 302+303」

オーガナイザー

森田 哲也

株式会社リコー

【趣旨・狙い】

8～10％程度の事業所でメンタルヘルス不調の1ヶ月以上休業者が継続している中で、一人の休職者をめぐる連携だけでなく、継続的な地域連携の取り組みも行われるようになってきた。リワークが休職者にとって有効な役割を果たし、再休職予防につながるために、主治医・リワーク医療機関・事業場がもつ様々な情報を共有し活用していくことが重要と考えられるものの、何を、どこまで、どうすれば共有可能なのかという戸惑いも少なからずある。

今回はこうした情報共有に関して、リワーク医療機関・事業場が持つ個人情報の提供・共有をそれぞれが共通認識のもとスムーズに行えるように、まずは法律論を展開していただき、実際に行われている継続的な地域連携、リワーク機関・事業所の連携の実際とそれぞれの立場が求めるものを示していただいた上で、今後の情報共有や連携のあり方について討論していきたい。

座 長

小林 真実

公益財団法人松原病院

森田 哲也

株式会社リコー

R-CS1-1

メンタルヘルス情報の取扱いと法

三柴 丈典

近畿大学法学部

R-CS1-2

今後の職場、リワーク施設、医療機関の地域連携を考える

山本 賢司

東海大学医学部総合診療学系精神科学

R-CS1-3

リワークと職場の連携

長井 景子

特定医療法人十全会 十全病院

R-CS1-4

事業場がリワークプログラムに求めるもの

照井 博志

株式会社リコー プロフェッショナルサービス部

人事総務センター人事サポート室 HRオペレーショングループ

リワーク 委員会企画シンポジウム2 [施設認定委員会]

現 地

ライブ

施設認定に必要な集団心理学について

2022年7月16日(土) 10:00～11:30

第5会場「2F 201+202」

オーガナイザー

横山 太範

さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

【趣旨・狙い】

施設認定委員会では、従来からプログラム運営において集団療法の実践を重要視してきた。広義の集団療法にはサイコドラマやロールプレイング、CBGTなどアクションを伴う活動も含まれるのでデイケア等で行われている活動は毎日が集団療法と違って間違いないのだが、協会員の中にはうまく定着していない。他の場面でも齟齬が生じている。機会があって教育現場で活動している人と話しても児童・生徒は患者ではないということから集団療法と言っても通じない。また、組織心理学や産業心理学の領域でも、集団療法というと「治療」を連想させ、話がかみ合わないことが時々ある。リワークは幅広い領域の方々と協働することが多いので、どのような言葉が適切なのかと悩んだが、集団心理学という言葉が一番分かりやすいと考えた。集団心理学、集団心理学的支援などの用語を定義し直し、施設認定に必要な集団心理学について検討することを本シンポジウムの目的とする。

座 長

前田 佐織

不知火病院リハビリテーションセンター

蔵屋 鉄平

さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

R-CS2-1

リワークに必要な集団心理学について（総論）

横山 太範

さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

R-CS2-2

リワークに必要な集団心理学について ～リワークにおける心理劇的視点の必要性について～

前田 英樹

さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

R-CS2-3

集団心理学的視点からの評価について

岡崎 渉

NTT 東日本関東病院精神神経科

R-CS2-4

集団心理学的視点から見た当院のプログラムについて

片桐 陽子

京都駅前メンタルクリニック

リワーク 委員会企画シンポジウム3 [研修委員会]

関係者のみ

第2回 指導スタッフの個別指導及び審査

2022年7月17日(日) 9:30～11:30

第5会場「2F 201+202」

オーガナイザー

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

【趣旨・狙い】

一般社団法人日本うつ病リワーク協会（以下、当協会）では、リワークプログラムでの基本的な指導方法や経験を身につけたリワークスタッフを養成し、リワーク施設の提供する医療サービスの質の向上とリワーク施設間での専門指導等を標準化することを目的にスタッフ認定制度を制定し、2019年4月1日から施行している。

そのなかで、当協会の「リワーク指導スタッフ」資格の取得をするためには、すでに「リワーク専門スタッフ」の資格を有する方が当協会研修委員会の行う「指導スタッフ個別指導及び審査」（以下、審査会）に参加し合格判定を得る必要がある（<http://www.utsu-rework.org/staff/index.html>）。「リワーク指導スタッフ」の資格はスタッフ認定制度の最上位資格であり、また当該スタッフが所属する医療機関が実地研修受入施設の認定を受ける際に要件の1つとなっている。しかし、2022年1月現在、実地研修受入施設は全国で12か所に留まり、また地域的な偏りが大きいという課題がある。そこで、今大会の審査会では、その参加要件を「所属施設がリワーク協会認定施設であること」、または「所属施設が2022年度中にリワーク協会認定施設の審査申込を行う予定であること」として優先し、実地研修受入施設を増やしたいと考えている。

審査会では、受験者1名に対して面接官2名が質問等をおこない、所要時間は概ね25分を予定している。内容は「総論」（リワーク参加者への事前ガイダンスをどのように行っているか、当該施設の特定のプログラムを具体的に説明していただく、等）「疾患ごとの指導や介入について」「不平・不満等への対応について」「評価について」「連携について」「実地研修での提出レポートについて」などに関する質問を行い、回答がリワーク指導スタッフとなるのに相応しいかを判定するものである。

審査会に参加する要件を満たしている方へは、その参加についての案内メールを送信してその旨を伝える。参加希望の方は送信されたメール本文にある「返信フォーム」でその旨を連絡し、返信フォームが当協会事務局で受信されたことをもって、参加申請と認める。また、1開催当たりの参加者数には定員があるため、まず、前回（千葉大会）でお申込みいただいた方からの申し込み申請を優先し、次に返信フォームの着信順で参加可否を決定してその旨を通知する。

当協会の目標の一つである「標準的な質の良いリワークプログラムを提供できる施設、スタッフを養成して社会に貢献する」ことにご賛同いただける多くの方にご参加頂ければ幸いである。

シンポジスト

有馬 秀晃

品川駅前メンタルクリニック

飯島 優子

メディカルケア虎ノ門

松田 匡弘

京都駅前メンタルクリニック

仙頭 彩奈

心の風クリニック

前田 エミ

医療法人要会かなめクリニック